

1	審議会名	第6回真田地域協議会
2	日時	令和2年12月22日(火) 午後7時00分から午後8時10分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	飯島恵美 委員、石合昌子 委員、荻原美知男 委員、金井由造 委員、木島徳行 委員、倉嶋幸雄 委員、清水由香 委員、高寺宣安 委員、滝沢博文 委員、堀内育子 委員、堀内和子 委員、堀内誠 委員、堀内靖子 委員、丸山進 委員、皆川克彦 委員、柳沢泉委員、吉池正博 委員
5	市側出席者	山崎センター長、櫻井地域振興課長、杉山市民サービス課長、柳沢産業観光課長、宮沢建設課長、宮崎教育事務所長、柳沢真田消防署長、真田地域振興課宮崎課長補佐兼地域政策担当係長、若林主査、飯島主査、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ <del>一部公開</del> ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年12月23日
協議事項等		

## 会議次第

- 1 開会（滝沢副会長進行）
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 協議事項

## (1) 真田地域協議会の調査研究について

- ・ 地域振興課地域政策担当宮崎係長から説明
- ⇒特に意見質問無し

正副会長と事務局から提案の3テーマで分科会を実施することが決定。

分科会の委員の担当は正副会長と事務局で振り分けることも併せて了承。

## 5 報告・確認事項

## (1) 住民自治組織について

- ・ 地域振興課地域政策担当宮崎係長から説明

## 【質問】

(委員) 上田市の城下地区の住民自治組織取り組み紹介で、自主避難計画の作成ということでこの作成が平成30年10月ということでその翌年に台風19号が来ている。その時に自治会ごとに作成されたハザードマップが全戸配布されており防災訓練もされているということで、台風19号が来た時にあの地域は避難区域になっていた。実際にこの取り組みはいかされたのか、活用されたのかが興味深い情報があるか。

(宮崎係長) 詳しい内容は承知していないが、この計画を作った時は東日本台風前だったので、実際の台風の規模は想定を上回るものだった。そのためこの計画は見直していかなければいけないものであると聞いた。ただ、それをどのように見直していくのかはまだわからないとのことだった。

(委員) 一番知りたいのは、作ったものが活用されたのか、効果があったのかということだ。作ったはいけど何の意味もないというのはもったいない話だ。あの計画があったからこそ台風19号災害において避難もできたし連絡も取り合えた、というようなことだ。

(宮崎係長) この計画によってどこがどのように使われたのか、というようなところは城下地区に聞かなければわからないところなのでまたお知らせする。

(委員) これまでの住民自治組織の検討経過で月 2 回の検討を経てきているがこのコロナ禍の中で様々な生活様式の変化などが起こってきている。分科会などを含む住民自治組織の検討や評議員会など、地域協議会で今後考えていく機会は月 2 回など出てくるものなのか、また地域協議会の今後のあり方なども月 2 回などというようにやっていくのか。

(宮崎係長) 地域協議会と住民自治組織の評議員会の関りについても議論はあった。この地域協議会委員の皆さんも自治会長や各種団体の長など、充て職で就任いただいている方も多いのに評議員会を開いてさらに負担を増やすのはどうなんだといった議論があった。そのため評議委員会の開催はこの地域協議会の開催と同日にしようということになり、何回も会議に出席しなければならないということがないようにしようとなった。また地域協議会の開催はどのように考えていくのかということなのだが、調査研究の説明でもお話しさせていただいたとおり、地域協議会の調査研究というものは条例上定められた任務となっている。しかしながらこの調査研究を月に 2 回 3 回とやっていくのかということとそういうことは考えていない。月 1 回の地域協議会の中で実施していくという方針で考えている。内容についても、かつては調査研究に 2 時間ぐらいとって実施していたこともあったが、このコロナ禍の中で実施する判断基準を念頭に開催していきたい。

(委員) 先日の三者懇談の中で自治会活動とまちづくり活動のあり方について、副市長からも自治会活動とまちづくり活動の定義のようなものもお話しされていたが、上田市の自治会連合会も考えが混乱している印象がある。これから真田町の住民自治組織のあり方も自治会との関係性なども考えていかなければいけないと感じる。

(宮崎係長) 各種団体や活動内容について実際にどのような道を進んでいくのかということところだが、自治会が主体、公民館が主体などいろいろな意見があるが、あの場でも、これまで歩んできた経過もあるので今後も検証や見直しを進めていきたいというコメントがあったと思うのでここでは私の意見は差し控える。

## (2) 次回地域協議会の日程

予定どおり、令和 3 年 1 月 19 日(火)午後 7 時から第 7 回地域協議会を開催することを確認した。

## (3) その他

- ・上田市交通政策課から資料預かり「上田市公共交通キャッシュレス化推進プロジェクト」、「路線バス上田草津線（特急湯畑号）について」事務局から案内
- ・協議会委員報酬がまとめて 12 月に入金されたことを報告
- ・【市民サービス課長から報告事項】 前回第 5 回地域協議会において委員から質問のあった「コロナ禍での老人センターの利用の制限をもう少し工夫して緩和できないか」という内容について、情勢を鑑み感染が収束していけば利用の緩和を検討していく予定である。